
業績ハイライト

－ 2020年3月期決算について －



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 2021年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	2020年3月期			2019年3月期
		前年同期比	増減率	
連結経常収益	42,354	△ 496	△ 1.1	42,850
経常利益	2,571	△ 20	△ 0.7	2,592
親会社株主に帰属する当期純利益	1,733	103	6.3	1,630

- じもとホールディングスの連結経常収益は423億54百万円、経常利益は25億71百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は17億33百万円となりました。

② 2行合算

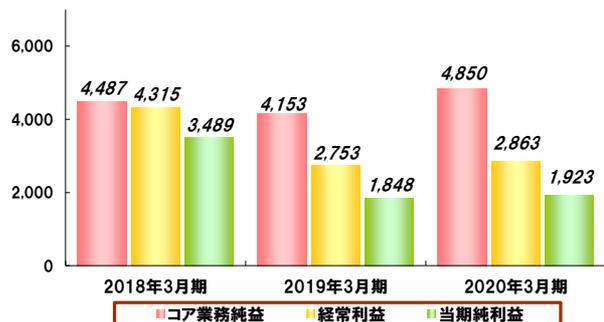
(単位:百万円、%)

	2020年3月期			2019年3月期
		前年同期比	増減率	
経常収益	37,095	△ 191	△ 0.5	37,286
業務粗利益	28,236	△ 624	△ 2.1	28,860
資金利益	25,897	△ 747	△ 2.8	26,645
役務取引等利益	1,737	△ 282	△ 13.9	2,019
その他業務利益	601	405	206.6	196
うち国債等債券損益	△ 528	△ 241	-	△ 287
経費(除く臨時処理分)	23,914	△ 1,080	△ 4.3	24,994
うち人件費	11,827	△ 620	△ 4.9	12,448
うち物件費	10,283	△ 476	△ 4.4	10,760
実質業務純益(注1)	4,321	455	11.7	3,866
コア業務純益(注2)	4,850	696	16.7	4,153
除く投資信託解約損益	3,810	1,056	38.3	2,753
一般貸倒引当金繰入額	983	828	536.6	154
業務純益	3,338	△ 372	△ 10.0	3,711
臨時損益	△ 475	483	-	△ 958
うち不良債権処理額	589	△ 951	△ 61.7	1,541
うち個別貸倒引当金繰入額	△ 436	△ 813	-	377
うち貸倒引当金戻入益	-	△ 393	-	393
うち株式等関係損益	△ 156	△ 772	-	616
経常利益	2,863	110	4.0	2,753
特別損益	△ 343	46	-	△ 390
当期純利益	1,923	74	4.0	1,848
与信関係費用	1,534	234	18.0	1,300

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比1億91百万円減少の370億95百万円(増減率△0.5%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、経費が減少したことなどから、前年同期比6億96百万円増加の48億50百万円(増減率16.7%)となりました。
- 経常利益はコア業務純益の増加や不良債権処理額の減少などにより前年同期比1億10百万円増加の28億63百万円、当期純利益は前年同期比74百万円増加の19億23百万円となりました。

1. 損益の状況

③ きらやか銀行単体

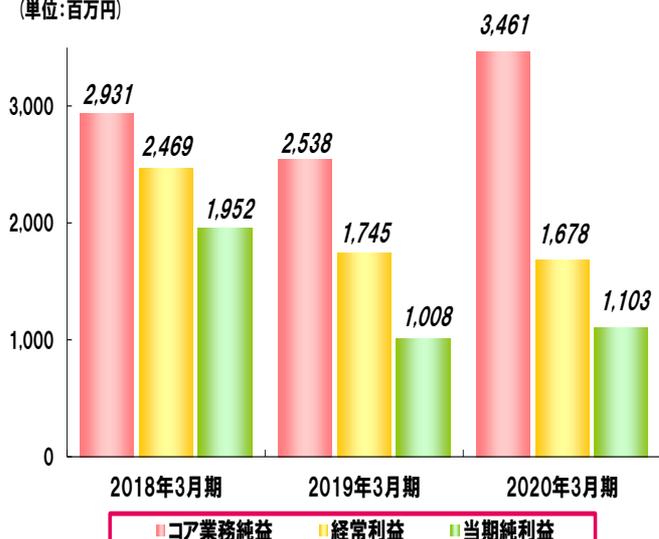
(単位:百万円、%)

	2020年3月期			2019年3月期
		前年同期比	増減率	
経常収益	20,732	△ 364	△ 1.7	21,097
業務粗利益	16,919	28	0.1	16,891
資金利益	14,487	△ 362	△ 2.4	14,850
うち貸出金利息	12,346	△ 99	△ 0.8	12,446
うち有価証券利息配当金	2,278	△ 371	△ 14.0	2,650
役務取引等利益	1,379	△ 74	△ 5.1	1,454
その他業務利益	1,052	465	79.3	586
うち国債等債券損益	△ 60	△ 74	-	13
経費(除く臨時処理分)	13,518	△ 821	△ 5.7	14,339
うち人件費	6,575	△ 501	△ 7.0	7,077
うち物件費	5,981	△ 325	△ 5.1	6,307
実質業務純益(注1)	3,400	849	33.2	2,551
コア業務純益(※注2)	3,461	923	36.3	2,538
(除く投資信託解約損益)	3,063	953	45.1	2,110
①一般貸倒引当金繰入額	293	293	-	-
業務純益	3,107	555	21.7	2,551
臨時損益	△ 1,428	△ 623	-	△ 805
②うち不良債権処理額	868	313	56.5	554
うち個別貸倒引当金繰入額	250	250	-	-
うち貸倒引当金戻入益	-	△ 393	-	393
うち株式等関係損益	△ 480	△ 320	-	△ 159
経常利益	1,678	△ 67	△ 3.8	1,745
特別損益	△ 30	248	-	△ 279
当期純利益	1,103	95	9.4	1,008
与信関係費用	1,124	963	598.5	160

(注1) 実質業務純益＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）

(注2) コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益

(単位:百万円)



- 経常収益は、有価証券利息配当金等の資金利益が減少したことなどから、前年同期比3億64百万円減少の207億32百万円（増減率△1.7%）となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、経費が前年同期比で8億21百万円減少したことなどから、前年同期比9億23百万円増加の34億61百万円（増減率36.3%）となりました。
- 与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入額や不良債権処理額が増加したことから、前年同期比9億63百万円増加の11億24百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比67百万円減少の16億78百万円、当期純利益は前年同期比95百万円増加の11億3百万円となりました。

1. 損益の状況

④ 仙台銀行単体

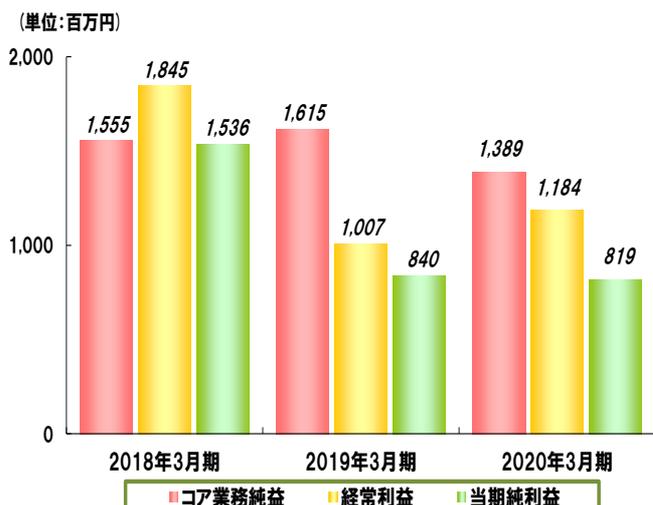
(単位:百万円、%)

	2020年3月期			2019年3月期
		前年同期比	増減率	
経常収益	16,362	173	1.0	16,189
業務粗利益	11,316	△ 652	△ 5.4	11,969
資金利益	11,409	△ 384	△ 3.2	11,794
うち貸出金利息	9,473	323	3.5	9,149
うち有価証券利息配当金	2,042	△ 734	△ 26.4	2,777
役務取引等利益	358	△ 207	△ 36.6	565
その他業務利益	△ 451	△ 60	-	△ 390
うち国債等債券損益	△ 467	△ 166	-	△ 300
経費(除く臨時処理分)	10,395	△ 259	△ 2.4	10,655
うち人件費	5,252	△ 118	△ 2.2	5,370
うち物件費	4,302	△ 150	△ 3.3	4,453
実質業務純益(注1)	921	△ 393	△ 29.9	1,314
コア業務純益(注2)	1,389	△ 226	△ 14.0	1,615
(除く投資信託解約損益)	746	103	16.1	643
①一般貸倒引当金繰入額	689	535	346.7	154
業務純益	231	△ 928	△ 80.0	1,160
臨時損益	952	1,106	-	△ 153
②うち不良債権処理額	△ 279	△ 1,265	-	986
うち個別貸倒引当金繰入額	△ 687	△ 1,064	-	377
(貸倒償却引当費用①+②)	410	△ 730	△ 63.9	1,140
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	324	△ 451	△ 58.2	775
経常利益	1,184	177	17.6	1,007
特別損益	△ 312	△ 202	-	△ 110
当期純利益	819	△ 20	△ 2.4	840

与信関係費用	410	△ 728	△ 63.9	1,139
--------	-----	-------	--------	-------

(注1) 実質業務純益＝業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益



- 経常収益は、有価証券利息配当金、株式等売却益が減少したものの、貸出金利息、国債等債券売却益が増加したことなどから、前年同期比1億73百万円増加の163億62百万円(増減率1.0%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利息が増加したものの、有価証券利息配当金の減少により資金利益が減少したことなどから、前年同期比2億26百万円減少の13億89百万円(増減率△14.0%)となりました。
- 与信関係費用は、不良債権処理額の減少により、前年同期比7億28百万円減少の4億10百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比1億77百万円増加の11億84百万円、当期純利益は前年同期比20百万円減少の8億19百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移



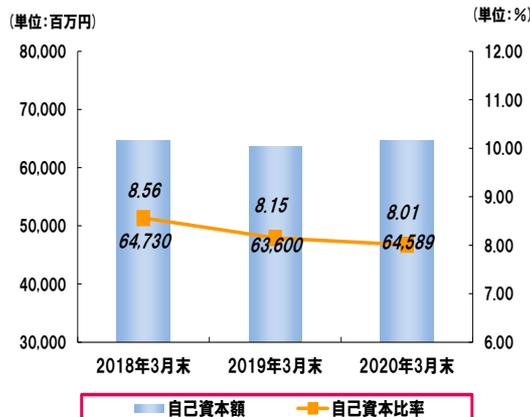
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.07%となりました。

(単位: %)

	2020年 3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年 3月末
	連結自己資本比率	8.07	Δ 0.32	Δ 3.81

② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



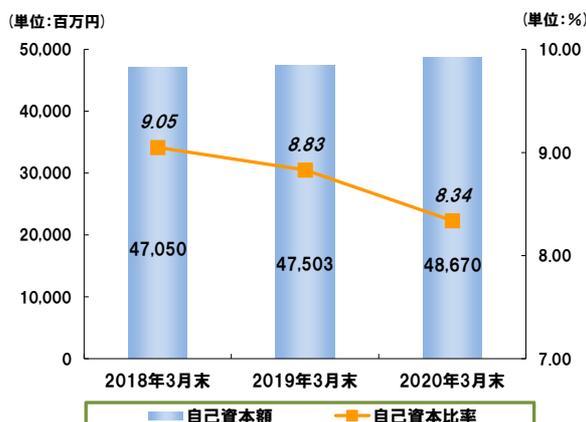
- 単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2019年3月末比0.14ポイント低下の8.01%となりました。

(単位: %)

	2020年 3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年 3月末
	自己資本比率【単体】	8.01	Δ 0.14	Δ 1.71
自己資本比率【連結】	7.87	Δ 0.18	Δ 2.23	8.05

③ 仙台銀行

自己資本比率(単体)の推移



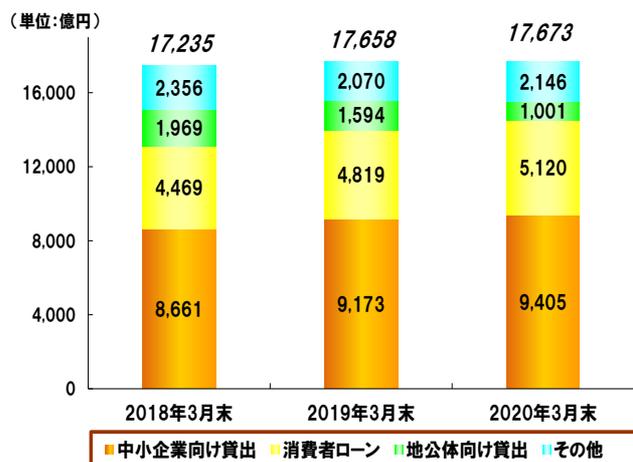
- 単体の自己資本比率は、当期純利益を8億19百万円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2019年3月末比0.49ポイント低下の8.34%となりました。

(単位: %)

	2020年 3月末	2019年 3月末比	増減率	2019年 3月末
	自己資本比率【単体】	8.34	Δ 0.49	Δ 5.54
自己資本比率【連結】	8.35	-	-	-

3. 貸出金の状況

① 2行合算



- 2行合算の貸出金残高は、2019年3月末比15億74百万円増加の1兆7,673億98百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
貸出金(末残)	1,767,398	1,574	0.0	1,765,823
うち中小企業向け貸出残高	940,563	23,210	2.5	917,353
うち消費者ローン	512,065	30,150	6.2	481,914
うち住宅ローン	467,585	28,893	6.5	438,692
うち地方公共団体向け貸出	100,159	△ 59,327	△ 37.1	159,487

② きらやか銀行



- 貸出金残高は、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したものの、政策的要因により地方公共団体向け貸出が減少したことなどから、2019年3月末比156億34百万円減少の1兆159億21百万円となりました。

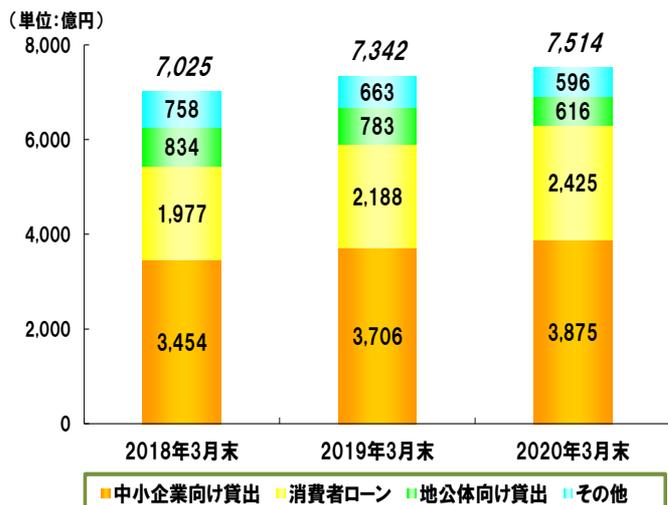
- 中小企業向け貸出は、本業支援の取組みを組織的に実施したことなどから、2019年3月末比63億円増加の5,530億5百万円となりました。

- 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2019年3月末比64億82百万円増加の2,695億11百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
貸出金(末残)	1,015,921	△ 15,634	△ 1.5	1,031,556
うち中小企業向け貸出残高	553,005	6,300	1.1	546,705
うち消費者ローン	269,511	6,482	2.4	263,029
うち住宅ローン	252,096	6,293	2.5	245,802
うち地方公共団体向け貸出	38,480	△ 42,644	△ 52.5	81,124

③ 仙台銀行



- 貸出金残高は、2019年3月末比172億9百万円増加の7,514億76百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

- 中小企業向け貸出は、本業支援を通じてお客さまの資金需要へ積極的に対応したことなどから、2019年3月末比169億10百万円増加の3,875億58百万円となりました。

- 消費者ローンは、住宅ローン等の増加により、2019年3月末比236億68百万円増加の2,425億54百万円となりました。

- 地方公共団体向け貸出は、2019年3月末比166億83百万円減少の616億79百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
貸出金(末残)	751,476	17,209	2.3	734,267
うち中小企業向け貸出残高	387,558	16,910	4.5	370,648
うち消費者ローン	242,554	23,668	10.8	218,885
うち住宅ローン	215,489	22,600	11.7	192,889
うち地方公共団体向け貸出	61,679	△ 16,683	△ 21.2	78,363

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算



● 2行合算の預金残高は、2019年3月末比11億33百万円増加の2兆3,216億29百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,321,629	1,133	0.0
うち個人預金	1,506,302	1,950	0.1	1,504,351
うち法人預金	589,598	△ 11,387	△ 1.8	600,985
うち公金預金	218,912	9,527	4.5	209,384

② きらやか銀行

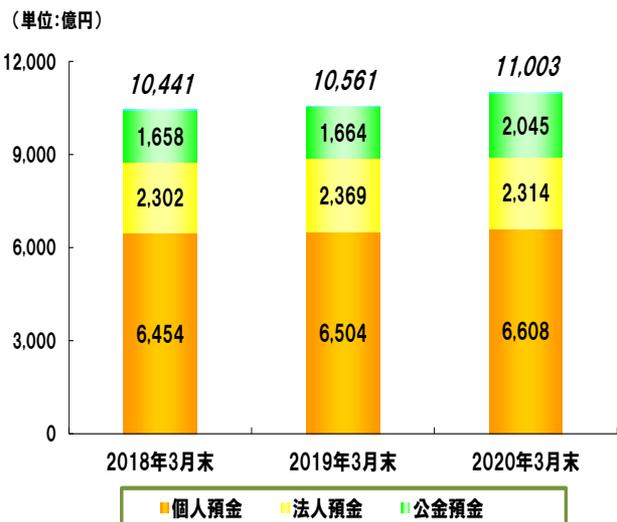


- 預金残高は、2019年3月末比430億25百万円減少の1兆2,212億74百万円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したものの、高利回り商品を抑制し定期預金が減少したことなどにより、2019年3月末比84億83百万円減少の8,454億64百万円となりました。
- 法人預金は、2019年3月末比59億81百万円減少の3,581億1百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,221,274	△ 43,025	△ 3.4
うち個人預金	845,464	△ 8,483	△ 0.9	853,948
うち法人預金	358,101	△ 5,981	△ 1.6	364,082
うち公金預金	14,374	△ 28,576	△ 66.5	42,950

③ 仙台銀行



- 預金残高は、2019年3月末比441億58百万円増加の1兆1,003億55百万円となりました。
- 個人預金は、2019年3月末比104億34百万円増加の6,608億38百万円となりました。
- 法人預金は、2019年3月末比54億6百万円減少の2,314億97百万円となりました。
- 公金預金は、2019年3月末比381億3百万円増加の2,045億37百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,100,355	44,158	4.1
うち個人預金	660,838	10,434	1.6	650,403
うち法人預金	231,497	△ 5,406	△ 2.2	236,903
うち公金預金	204,537	38,103	22.8	166,434

5. 預かり資産の状況

① 2行合算

(単位:億円)



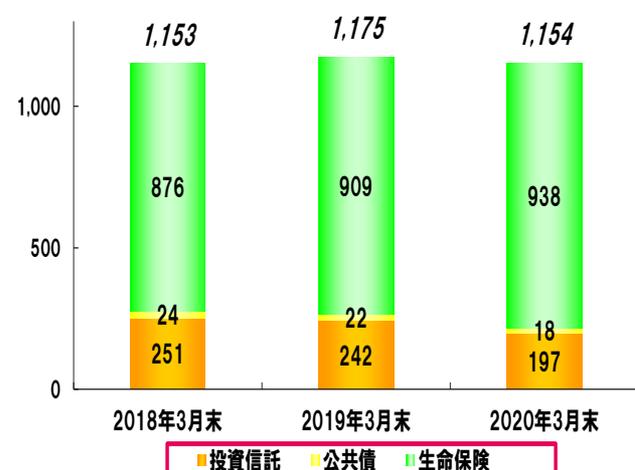
- 2行合算の預かり資産残高は、2019年3月末比1億79百万円増加の2,196億13百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
預かり資産(末残)	219,613	179	0.0	219,433
うち投資信託	28,358	△ 6,356	△ 18.3	34,715
うち公共債(国債等)	7,653	△ 964	△ 11.1	8,618
うち生命保険	183,601	7,501	4.2	176,100

② きらやか銀行

(単位:億円)



- 預かり資産残高は、2019年3月末比20億80百万円減少の1,154億22百万円となりました。
- 投資信託は、2019年3月末比45億12百万円減少の197億74百万円となりました。
- 公共債は、2019年3月末比4億31百万円減少の18億33百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの保険運用ニーズへの対応により、2019年3月末比28億63百万円増加の938億15百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
預かり資産(末残)	115,422	△ 2,080	△ 1.7	117,503
うち投資信託	19,774	△ 4,512	△ 18.5	24,286
うち公共債(国債等)	1,833	△ 431	△ 19.0	2,264
うち生命保険	93,815	2,863	3.1	90,951

③ 仙台銀行

(単位:億円)



- 預かり資産残高は、2019年3月末比22億60百万円増加の1,041億90百万円となりました。
- 投資信託は、2019年3月末比18億44百万円減少の85億84百万円となりました。
- 公共債は、2019年3月末比5億33百万円減少の58億20百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、2019年3月末比46億37百万円増加の897億86百万円となりました。

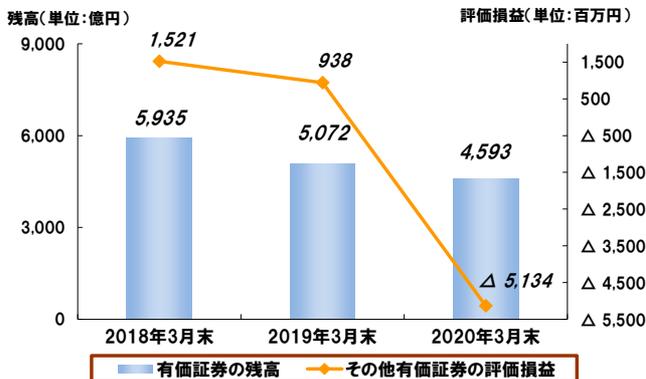
(単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
預かり資産(末残)	104,190	2,260	2.2	101,930
うち投資信託	8,584	△ 1,844	△ 17.6	10,428
うち公共債(国債等)	5,820	△ 533	△ 8.3	6,353
うち生命保険	89,786	4,637	5.4	85,148

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、2019年3月末比479億44百万円減少の4,593億7百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、2019年3月末比60億72百万円減少し、51億34百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

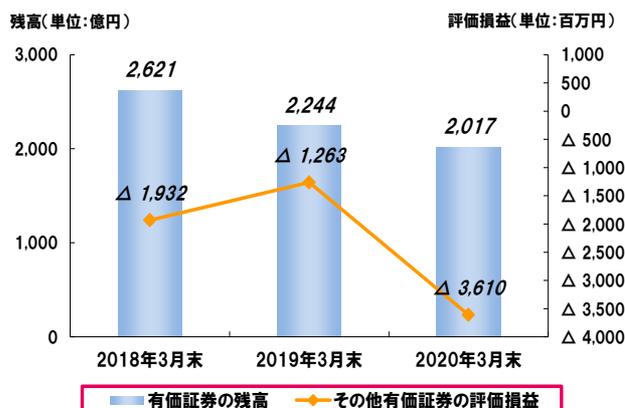
	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
有 価 証 券	459,307	△ 47,944	△ 9.4	507,251
国 債	31,828	△ 78,076	△ 71.0	109,904
地 方 債	39,857	△ 47,453	△ 54.3	87,310
社 債	95,036	△ 59,938	△ 38.6	154,974
株 式	8,778	△ 3,548	△ 28.7	12,326
そ の 他 証 券	283,806	141,071	98.8	142,735

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 5,134	△ 6,072	938
株 式	△ 185	△ 861	676
債 券	97	△ 2,977	3,075
そ の 他	△ 5,046	△ 2,233	△ 2,812

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、保有債券の償還及び運用ポートフォリオの見直しを実施したことなどから、2019年3月末比226億26百万円減少の2,017億94百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、金利の上昇等により債券の評価益が減少したことなどから、2019年3月末比23億47百万円減少し、36億10百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

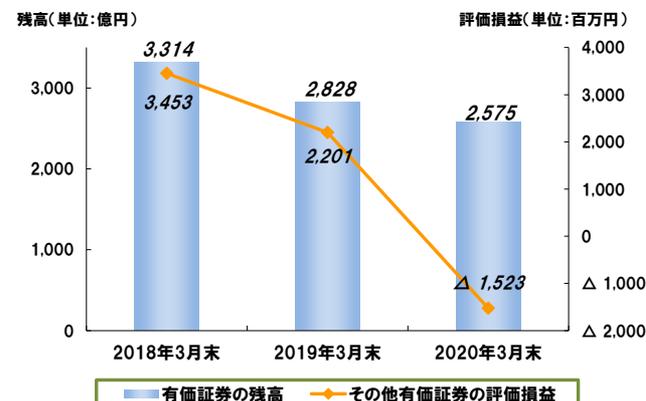
	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
有 価 証 券	201,794	△ 22,626	△ 10.0	224,421
国 債	26,748	△ 32,150	△ 54.5	58,899
地 方 債	8,132	△ 2,525	△ 23.6	10,657
社 債	54,878	1,502	2.8	53,375
株 式	7,792	△ 1,199	△ 13.3	8,992
そ の 他 証 券	104,243	11,746	12.6	92,496

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 3,610	△ 2,347	△ 1,263
株 式	△ 146	32	△ 178
債 券	200	△ 1,031	1,231
そ の 他	△ 3,664	△ 1,348	△ 2,316

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向を踏まえ、ポートフォリオの見直しを実施したことにより、2019年3月末比253億17百万円減少の2,575億12百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、株式や債券の売却による評価益の実現や、含み益を抱えていた債券の償還により、2019年3月末比37億25百万円減少し、15億23百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

	2020年3月末	2019年3月末比	増減率	2019年3月末
有 価 証 券	257,512	△ 25,317	△ 8.9	282,830
国 債	5,080	△ 45,925	△ 90.0	51,005
地 方 債	31,725	△ 44,927	△ 58.6	76,653
社 債	40,158	△ 61,440	△ 60.4	101,599
株 式	985	△ 2,348	△ 70.4	3,333
そ の 他 証 券	179,563	129,324	257.4	50,238

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 1,523	△ 3,725	2,201
株 式	△ 39	△ 894	854
債 券	△ 102	△ 1,945	1,843
そ の 他	△ 1,381	△ 885	△ 496

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2019年3月末比5億72百万円増加の370億31百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2019年3月末比0.02ポイント上昇の2.06%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

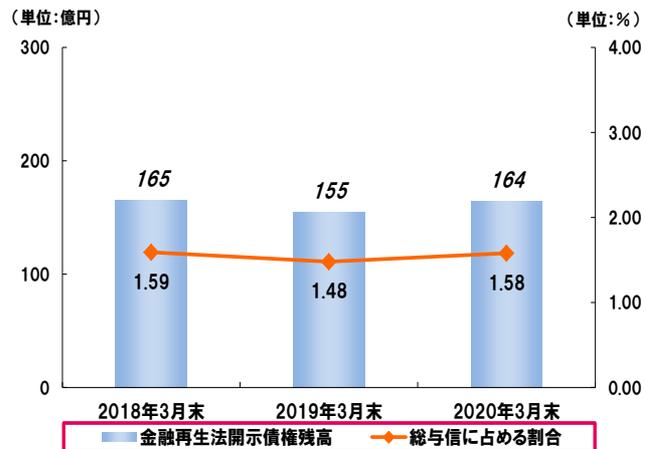
	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,975	△ 643	4,618
危険債権	27,488	△ 46	27,534
要管理債権	5,567	1,262	4,305
合計 (A)	37,031	572	36,458
正常債権	1,757,736	7,235	1,750,500
総与信額 (B)	1,794,767	7,808	1,786,958
(A / B)	2.06	0.02	2.04

②金融再生法開示債権の保全状況(2020年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,975	3,975	3,184	790	100.00
危険債権	27,488	22,950	19,280	3,669	83.49
要管理債権	5,567	2,082	1,777	305	37.40
合計	37,031	29,007	24,242	4,765	78.33

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2019年3月末比9億27百万円増加の164億82百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、2019年3月末比0.10ポイント上昇し1.58%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

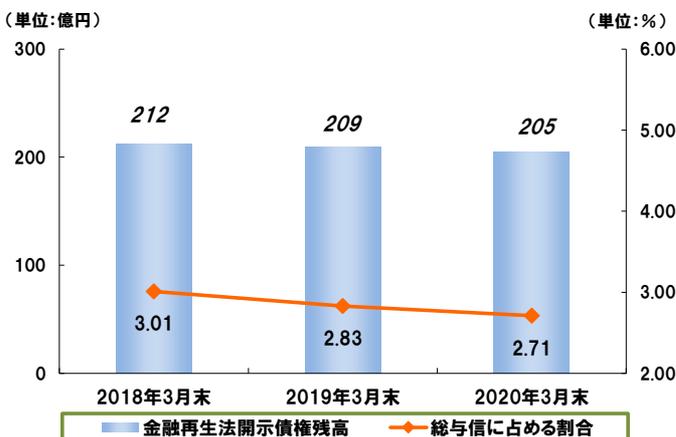
	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,218	△ 832	3,050
危険債権	11,482	1,916	9,565
要管理債権	2,781	△ 156	2,937
合計 (A)	16,482	927	15,554
正常債権	1,021,693	△ 12,894	1,034,588
総与信額 (B)	1,038,175	△ 11,967	1,050,143
(A / B)	1.58	0.10	1.48

②金融再生法開示債権の保全状況(2020年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,218	2,218	1,781	436	100.00
危険債権	11,482	7,785	7,240	545	67.80
要管理債権	2,781	490	234	255	17.62
合計	16,482	10,494	9,256	1,237	63.67

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2019年3月末比3億54百万円減少の205億48百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2019年3月末比0.12ポイント低下の2.71%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

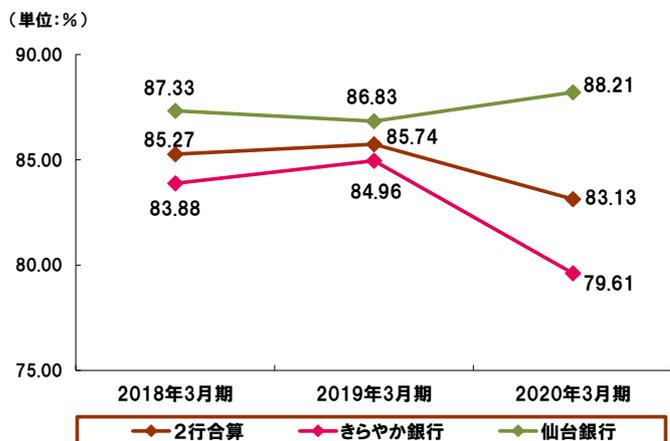
	2020年3月末	2019年3月末比	2019年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,756	188	1,567
危険債権	16,006	△ 1,962	17,968
要管理債権	2,786	1,418	1,367
合計 (A)	20,548	△ 354	20,903
正常債権	736,042	20,130	715,911
総与信額 (B)	756,591	19,776	736,815
(A / B)	2.71	△ 0.12	2.83

②金融再生法開示債権の保全状況(2020年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,756	1,756	1,402	354	100.00
危険債権	16,006	15,164	12,040	3,124	94.74
要管理債権	2,786	1,592	1,542	50	57.14
合計	20,548	18,513	14,985	3,528	90.09

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、2019年3月期比2.61ポイント低下し、83.13%となりました。



(単位:%)

		2020年3月期	2019年3月期比	2019年3月期
コアOHR	2行合算	83.13	△ 2.61	85.74
	きらやか銀行	79.61	△ 5.35	84.96
	仙台銀行	88.21	1.38	86.83

9. 2021年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの2021年3月期の連結業績予想は、経常利益21億円、親会社株主に帰属する当期純利益17億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2020年3月期の1株あたりの期末配当金は、新型コロナウイルス感染症の影響による与信関係費用の増加を見込む中で、経営体質強化のために必要な内部留保の確保及び充実を図る観点から、従来の1株あたり2円50銭から、1株あたり1円50銭の予定とさせていただきたいと存じます。また、2021年3月期の中間配当金につきましても1株あたり1円50銭とし、年間で1株あたり3円の予定とさせていただきたいと存じます。

(単位:百万円)

	2021年3月期	中間期	(参考) 2020年3月期 実績
経常利益	2,100	800	2,571
親会社株主に帰属する当期純利益	1,700	600	1,733

基準日	中間	期末	年間
配当予想	1円50銭	1円50銭	3円00銭
(参考)2020年3月期	2円50銭	1円50銭	4円00銭

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益16億円、当期純利益13億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益8億円、当期純利益7億円を見込んでおります。

きらやか銀行

仙台銀行

(単位:百万円)

	2021年3月期	中間期	(参考) 2020年3月期 実績
経常利益	1,600	600	1,678
当期純利益	1,300	400	1,103

(単位:百万円)

	2021年3月期	中間期	(参考) 2020年3月期 実績
経常利益	800	400	1,184
当期純利益	700	300	819